

11月8日(火)、平国天子宮において、子どもの健やかな成長を願う「赤ちゃん土俵入り」が行われました。これは100年以上続いている行事で、付近の地域では佐敷の諏訪神社、水俣の住吉神社でも行われています。



▲平国小児童による真剣取組

当日は5人の赤ちゃんが堂々とした土俵入りを果たしました。また、平国小学校児童による相撲の取組みも行われ、会場

## 赤ちゃん土俵入り 堂々とした姿で登場

平国天子宮杯相撲大会



## 参加者全員、四苦八苦

デコポンバレー大会開催

10月30日(日)、デコポンバレーボール大会が開催され、町内外から18チーム約100人が参加して行われました。これは地元活性化や地域交流を目的に、毎年川内地区と大会実行委員会が主催で開催しているものです。

本来は稲刈り後の田んぼで行う予定でしたが、雨天のため会場を旧赤崎小学校体育館に変更して行われました。使用するボールは変形していて、動きが不規則になるため、参加者は必死にボールを追いかけて、試合を楽しんでいました。

大会終了後は抽選会が行われ、新米やスイーツスプリングなどの地元特産品が参加者に配られました。今年は八代から参加した『スパークス』チームが優勝を果たしました。



▲不規則な動きをするボールに振り回されました



▲美しい歌声に会場が魅了されました

## 優しい歌声で感動を

DOYO組コンサート開催

11月19日(土)、つなぎ文化センターでDOYO組コンサートが開催されました。DOYO組は童謡や唱歌などをきれいなハーモニーでつづる、熊本を代表する二人組の歌手です。

当日は約300人が訪れ、DOYO組のきれいな歌声で歌われる懐かしい童謡に聞き入っていました。今回は『紅葉』『雪』『北風小僧の寒太郎』や『夕焼小焼～赤とんぼ』など、この季節に合った童謡が歌われ、会場に訪れた観客と一緒に口ずさんだり手拍子をしたりと、みんな盛り上がり、子どもたちも舞台上上がって一緒に歌ったりして楽しいひとときを過ごしていました。